

④ 「データ利活用」の取組



地域づくり総合交付金（デジタルチャレンジ推進事業）

担当課：総合政策部次世代社会戦略局DX推進課

R5事業費 50,000千円

暮らし
データ利活用

事業の 目的

地域課題の解決を目的として、AIやIoT等のデジタル技術を活用した新規性のある実証を支援し、道内各地域におけるAIやIoT等の未来技術の実装を促進、成功事例を横展開する。

背景・ 課題

- 新たなライフスタイル、ビジネススタイルへの変革に対応するため、道内各地域におけるデジタル技術の活用が急務

概要

- 道内市町村の抱える課題に対して、技術を持つ民間企業と市町村が連携し、AIやIoTを活用して解決する実証的な取組に対して支援。
- 事業で作成、取得したデータをオープンデータとして公開し、新たな活用事例の提案や費用対効果の検証を行い、他地域への展開を図る。

交付率	1 / 2 以内
限度額	上限：1,000万円、下限：100万円
交付対象者	道内市町村と民間企業によるコンソーシアム等
事業期間	交付決定日から令和6年3月31日まで

令和5年度 2事例に対して支援

目指す姿

<事業採択件数(累計)>

令和4年 12件



令和7年 24件

道内各地域の様々な分野において、AIやIoT等の未来技術の活用とデータの利活用が進展

④ 「データ利活用」の取組



事業名 ICT活用型草地管理普及促進事業

データ利活用

担当課：農政部生産振興局畜産振興課

R5事業費 903千円

事業の目的

ICTを活用して草地（牧草）管理を省力化・効率化する技術の普及促進のため、生産者や農業団体等へPR活動を行う。

背景・課題

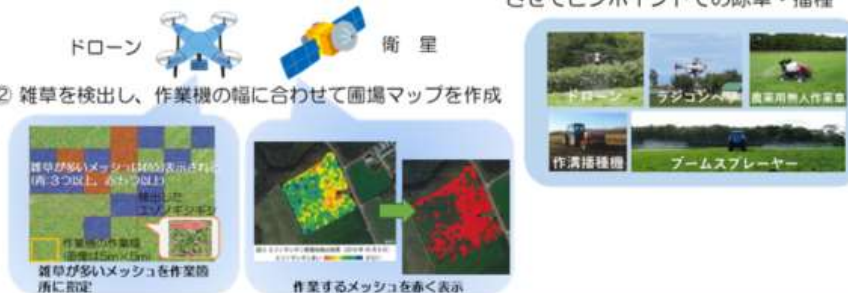
- 高齢化や後継者不足など労働力の不足により、牧草の品質向上と収量確保に必要な草地の植生改善や、飼料調製作業に近い将来大きな支障を来すことが強く懸念される。
- 牧草生産における労働負担軽減と、草地管理の効率化の推進が必要。

概要

ICTを活用した広域植生診断やピンポイント草地更新技術の実証事業先（委託事業）と連携し、生産者や農業団体、市町村担当者などを対象に、草地のリモートセンシング及び無人機による除草剤散布の実演などを行う現地研修会を開催し、ICT活用型草地管理技術の普及を進める。

ピンポイント草地更新技術の概要

- ① 草地の画像を雑草検出アプリ又は分析機関へ
- ② 雑草を検出し、作業機の幅に合わせて圃場マップを作成
- ③ 圃場マップをスマート農業機械に連動させてピンポイントでの除草・播種



令和5年度 開催地

9月：空知、渡島地区
10月：後志、胆振地区

目指すべき姿

【KPI】

自力更新面積
2.3% (H30)
→ 10% (R7)

【事業効果】

牧草の単収
3,240Kg/10a (H30)
→ 3,500Kg/10a (R12)
(第8次北海道酪農・肉用牛生産近代化計画の目標に寄与)

⑤ 「基盤整備」の取組



デジタル人材育成事業費

担当課：総合政策部次世代社会戦略局デジタルトランスフォーメーション推進課

R5事業費 4,000千円

基盤整備

事業の目的

デジタルを活用した解決策を企画・立案できる「デジタル活用人材」（デジタル人材レベル2）を育成する研修プログラムを制作

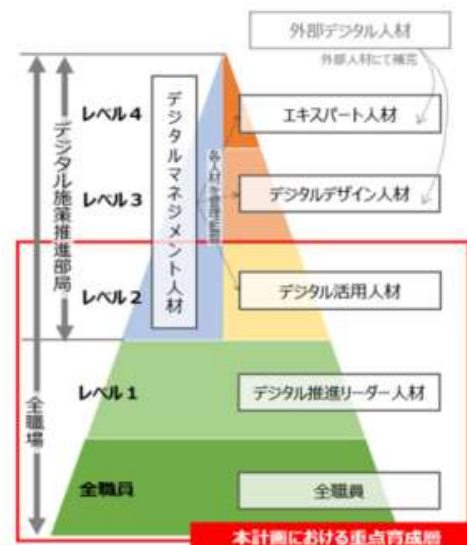
背景・課題

- ・ 社会のあらゆる面でデジタル化が進展する中、国全体で、デジタルの導入やデジタル人材育成を推進している。
- ・ 北海道においても、デジタル技術を活用して地域課題の解決を図ることや、庁内業務の効率化等を推進する必要があるが、必要となるデジタル人材は不足している。

概要

- ・ 道では、令和4年11月に庁内デジタル人材育成のため「北海道職員のデジタル人材育成に関する計画」を策定。
- ・ 本事業では、各職場で業務改善に取り組みデジタル活用等のモデルとなる「デジタル活用人材（レベル2）」を育成するための研修プログラムを制作し、グループワーク等の研修を実施。
- ・ R6年度以降はR5年度の研修プログラムや運営ノウハウを活用し、研修を実施する。

R4年度は「デジタル推進リーダー人材（レベル1）」動画コンテンツ研修を作成
→R5.7から研修を開始（全庁職員がYoutubeで視聴し受講）



目指す姿

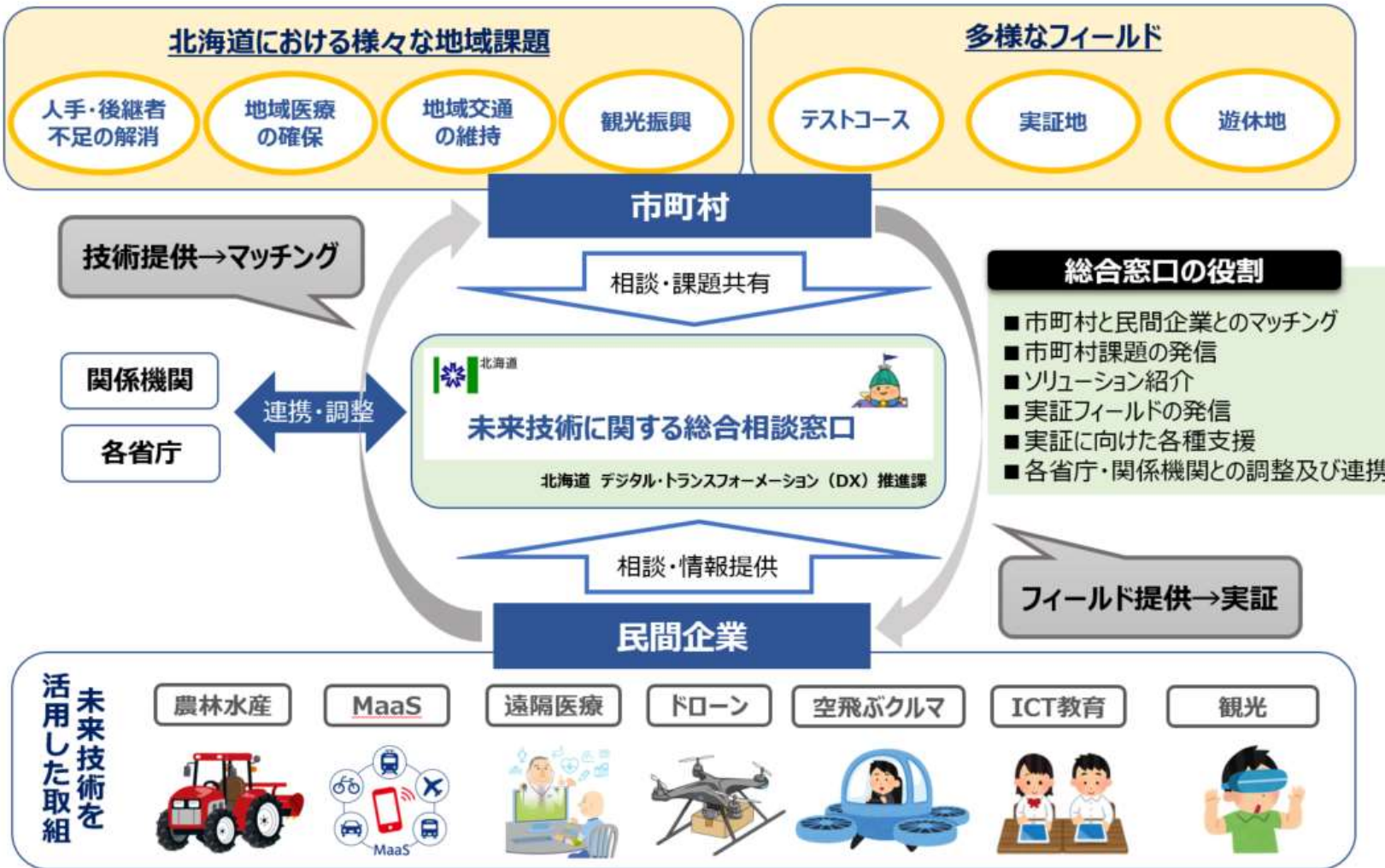
デジタル活用人材（レベル2）の育成数

年次	数値目標
令和5年	20名
令和7年	49名

各所属の現状の課題分析を踏まえて、デジタルを活用した解決策を企画・立案し、実際に課題解決を行うデジタル活用人材が育成される。

⑥ その他の取組 未来技術に関する総合相談窓口の設置

本道が持つ広大で多様なフィールドを最大限に活用し、未来技術の社会実装に向けた取組を加速させるため、全庁一丸となった支援体制を構築し、様々な相談に対応できる窓口を設置。



⑥ その他の取組 北海道ミライづくりフォーラムの開催

北海道Society5.0の実現に向けた機運醸成と具体的な取組を推進するため、デジタル活用の最新動向や先進的自治体の取組について紹介するとともに、未来技術に触れ、民間事業者との人脈を形成できる機会を提供



- 来場者 500名（自治体職員、教育機関関係者、関係企業・団体）
- 出展者数 50社80ソリューション
- 内容
 基調講演「人工知能の未来 ChatGPTを超えて」（北大川村教授）
 主催者講演、自治体DX会議、教育ICTフォーラム、ドローンフォーラム



知事も展示ブースを視察、ドローンサッカーを体験



2023.11.2 会場 札幌 15:00 会場時間 15:00-17:15 場所 ロイトン札幌3F ロイトンホール 〒050-0031 北海道札幌市中央区北1条西1丁目1番地1

イベントサイト <https://www.sprforum.jp/2023>

基調講演
 川村 秀敏氏 北海道大学工学部教授 情報理工学 教授
 講演テーマ「AI時代の未来と教育ICTの活用」

主催者挨拶
 鈴木 直道 北海道知事
 講演テーマ「北海道の未来と教育ICTの活用」

自治体、教育関係機関、企業、団体さま、この機会に是非本フォーラムへご参加ください！

⑥その他の取組 北海道Society5.0の広報・周知

道政広報コーナーでの広報・周知

道庁1階道政広報コーナーにおいて、令和5年8月にパネル展を開催（北海道Society5.0の周知）。10月には、生成AIについて解説するランチタイムセミナー、デジタル体験会、デジタル相談会を開催。

パネル展（8月）



ランチタイムセミナー×デジタル体験会×デジタル相談会（10月）



⑥ その他の取組 民間企業との連携協定を活用した取組

デジタル相談員の設置

民間企業との連携協定を活用し、道庁内に「デジタル相談員」を設置。道庁各課、市町村のデジタル化、DXに関する相談を受け、アドバイスをする。



デジタルに関するお悩み解決！ デジタル相談員

北海道庁では、**デジタル技術を活用**した業務の効率化や施策を進めています。**業務の効率化や施策にデジタルの活用を検討したいけど、どう検討したらいいかわからない**活用は検討しているけど、**具体的なソリューションや事業者を知りたい** など道庁及び市町村のデジタルに関するお悩みを一元的に受け付けます！



相談の様子

積雪状況の監視、GPSで収穫管理…



防災や農業最新技術紹介
中標津自治体向けDX体験会

2023.5.17 北海道新聞

トレンドや問い合わせの多い分野・技術に関するミニセミナーも随時開催

これまでの相談件数
およそ**100件**
※R4.11から現在

出張相談会やDX研修会・体験会など
地域でも活動実績あり

⑥ その他の取組 北海道Society5.0事例集の公開

道内市町村や企業等、道内で取り組まれている未来技術を活用した先進事例の共有、今後の横展開などにつなげていくため、事例集を作成し公開



URL: https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ssf/society5/hkdsociety5_casestudies.html



岩見沢市「地産地消エネルギー活用によるMaaS（EVバス公道走行）実証実験」

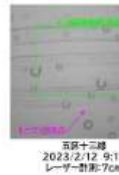
<概要図>



- ① EV自動運
- ② EV自動運
- ③ 地域エネル

富良野市「積雪状況監視・出勤要請の自動化実証事業」

<概要図>



- ・Webカメラ
- ・レーザー型
- ・ミリ波セン
- ・AI画像解析

倶知安町「スキー場まるごとDX化事業inニセコ東急グラン・ヒラフ」

<概要図 (NFT)>

